

環境の変化とコミュニケーション

巻・頭・言

令和6年度特技懇 代表幹事 鎌 利孝

本年度の特技懇代表幹事を務めております鎌利孝と申します。関係者の皆さま、特に特技懇正会員・特別会員の皆さまには、平素より特技懇の活動や運営にご協力いただき、大変ありがたく存じます。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

さて、特実審査部門では昨年度から本格的にフリーアドレスが開始しました。私が入庁した平成23年度の頃と比べ、フレックスタイムの導入、テレワークの導入、フリーアドレスの導入、と年々勤務形態が柔軟となり、働きやすい環境となってきたように思います。

審査業務というものは個々の審査官の裁量が大きいところ、もちろんそれは素晴らしいことではあるのですが、その一方、意識しないと人と話す機会が少なくなるという側面もあるように思います。

コロナ禍の影響もあり周りとの会話の機会が減っていた方もいらっしゃるかもしれませんが、フリーアドレス対応が一段落したこのタイミングに、新たな職場内コミュニケーションについて考えてみてはいかがでしょうか。

また、この一年の環境の変化といえば、生成AIが大きく取り扱われるようになってきたことがあるかと思えます。気が付けばそこかしこで導入が進んでいるところ、時代に取り残されることのないよう、生成AIに何ができるかを見極めつつキャッチアップしていかなければと決意しています。

・・・ちなみに本原稿は生成AIを利用せずに執筆していることを申し添えます。

話は変わりますが、例年開催の特技懇の懇親会は、本年は10月17日に開催されました。ご参加いただいた方はありがとうございます。また、今回ご参加いただけなかった方も、普段お話しできない方とお話しするよい機会になるかと思いますので、次回以降のご参加をご検討いただけますと幸いです。

人と人とのつながりは大事なもので、私自身これまでつらい時期があったりもしましたが、周りの方々に助けられ、支えられてここまで来られました。特技懇という組織や懇親会などのイベントが、少しでも皆さんのつながりを作るきっかけになれば幸いです。

ここで、特技懇が提供している各種サービスやイベントを紹介したいと思います。例えば、特技懇が開催する懇親会や意見交換会などに参加していただくだけで、他部署に所属している正会員や庁のOB・OGである特別会員と自然にコミュニケーションを取ることができると思います。もし、特技懇が提供している各種サービスやイベントについてのご意見があれば随時お知らせください*。

それでは特技懇315号をお楽しみください！

※我々特技懇常任委員会では、皆様のお声をお待ちしております。ご意見につきましては、次のアドレスまでサイト内から、または直接メールにてお知らせください。tokugikon.toiawase@gmail.com